

「奈良県のがん登録 2011（平成 23）年」の概要

I 奈良県地域がん登録事業の概要

1 目的

県内に住所を有する者を対象に、がん患者の発症、死亡及び医療状況の実態を把握することにより、がんの罹患率の測定等を行い、本県におけるがん対策の推進と医療水準の向上に資するとともに、県民の健康増進に寄与することを目的とする。

2 概要

○実施主体及び運営主体

- ・実施主体は奈良県
- ・地域がん登録室は、平成 24 年 1 月から奈良県医療政策部保健予防課内に設置

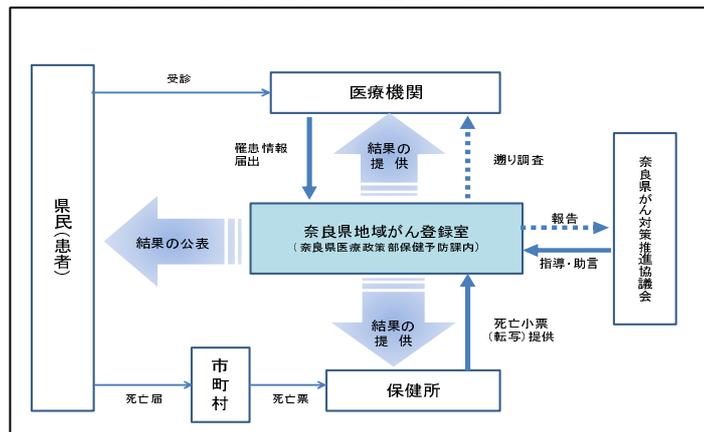
○登録対象者

- ・県内に住所を有する者であって、がんと診断された者及びがんにより死亡した者

○情報収集

- ・がんの診断、治療等の情報は、県内の医療機関等からの届出票により収集
- ・がんによる死亡情報は、県内の保健所からの人口動態調査死亡小票（転写）により収集（図 1）
- ・がんに罹患していたことが死亡票で初めて把握された者について、死亡診断書の作成施設に問い合わせ、その者の罹患情報を得る遡り調査により収集

図 1 奈良県地域がん登録の概要図



II 最新がん統計

1 本報告書の集計について

○集計期間

罹患年月日（がんと診断された日又はがんにより死亡した日）が 2011（平成 23）年 1 月 1 日から 2011（平成 23）年 12 月 31 日までの 1 年間

○集計時期

2014（平成 26）年 9 月 1 日現在

2 罹患の状況

（1）罹患の概要（表 1、図 2）

- ・総罹患数は、9,498 件（男性 5,590 件、女性 3,908 件）となっており、2009 年、2010 年、2011 年と年々増加している。
- ・部位別の罹患では、男性では 2011 年に「肺」、「胃」が入れ変わり、「胃」、「肺」、「前立腺」の順、女性では 2009 年、2010 年、2011 年ともに「乳房」、「胃」、「肺」の順であった。

<留意点>

- ・地域がん登録では、医療機関からの届出票、保健所からの死亡小票、遡り調査により、がんの罹患を把握しているが、今回の集計では 12.8%が死亡情報のみからの把握となっている。
- ・死亡情報のみからの把握の者については、実際には 2011 年以前にがんと診断されていた場合であっても、死亡年月日を罹患年月日として登録していることから、罹患数の解釈に当たっては、次の点に留意する必要がある。

- ①生存率の低い部位（肺など）の罹患数・率は実際より高い可能性がある。
- ②生存率の高い部位（前立腺など）の罹患数・率は実際より低い可能性がある。

表1 罹患数及び部位別罹患数・罹患割合

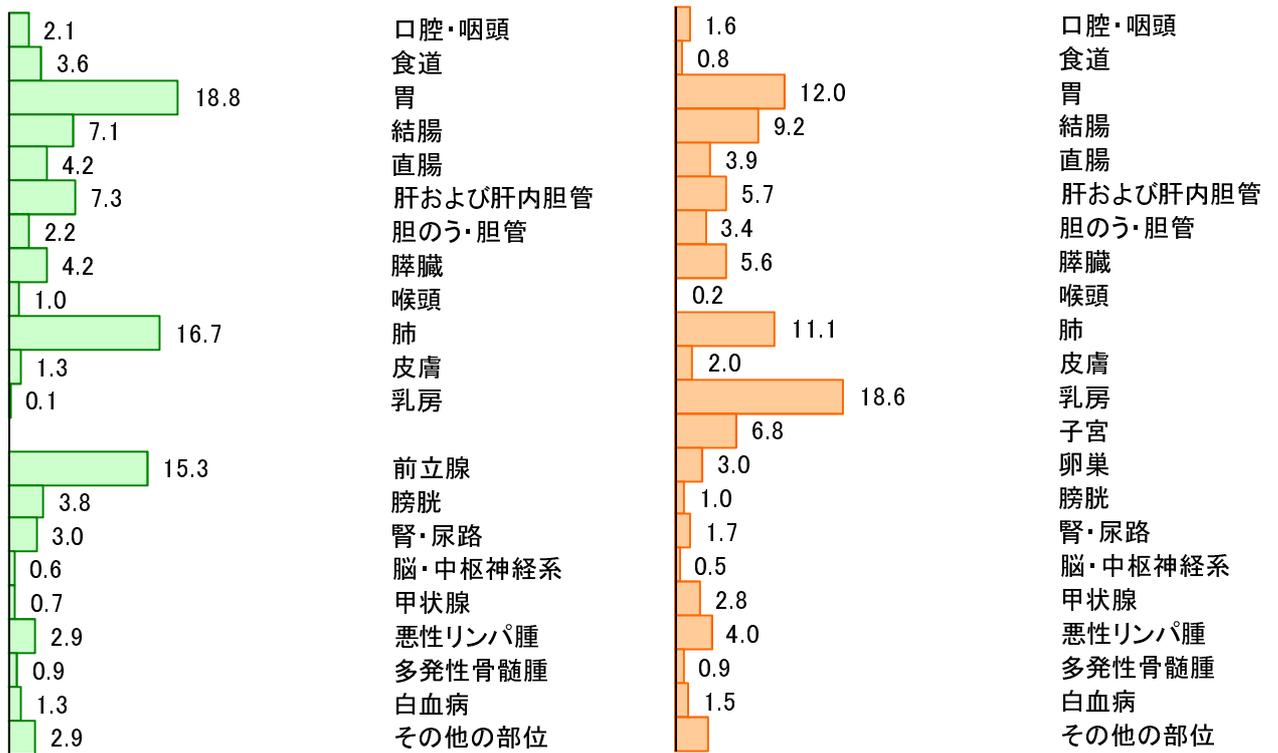
罹患年	罹患数		部位別罹患数・罹患割合(上位3部位)						
			1位		2位		3位		
	総罹患数	内訳	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	部位	罹患数 (割合)	
2011年	9,498人	男性	5,590件	胃	1,053件 (18.8%)	肺	931件 (16.7%)	前立腺	858件 (15.3%)
		女性	3,908件	乳房	726件 (18.6%)	胃	468件 (12.0%)	肺	433件 (11.1%)

図2 部位内訳(%)

(2011年)

男性 全年齢 5,590件

女性 全年齢 3,908件



注) 上皮内がんを除く

(2) 年齢別に見たがんの罹患 (図3、表2)

- ・新たに診断されたがんについて、年齢別にみると、2009年、2010年、2011年のいずれの年も、男性では全体の約3/4、女性では全体の約2/3が65歳以上であった。
- ・総数では、男性の方が女性よりも多いが、15～39歳では、女性の方が男性よりも多い。これは、この年齢層の乳がんと子宮頸がんが多いためである。

図3 年齢階級別内訳 (%)

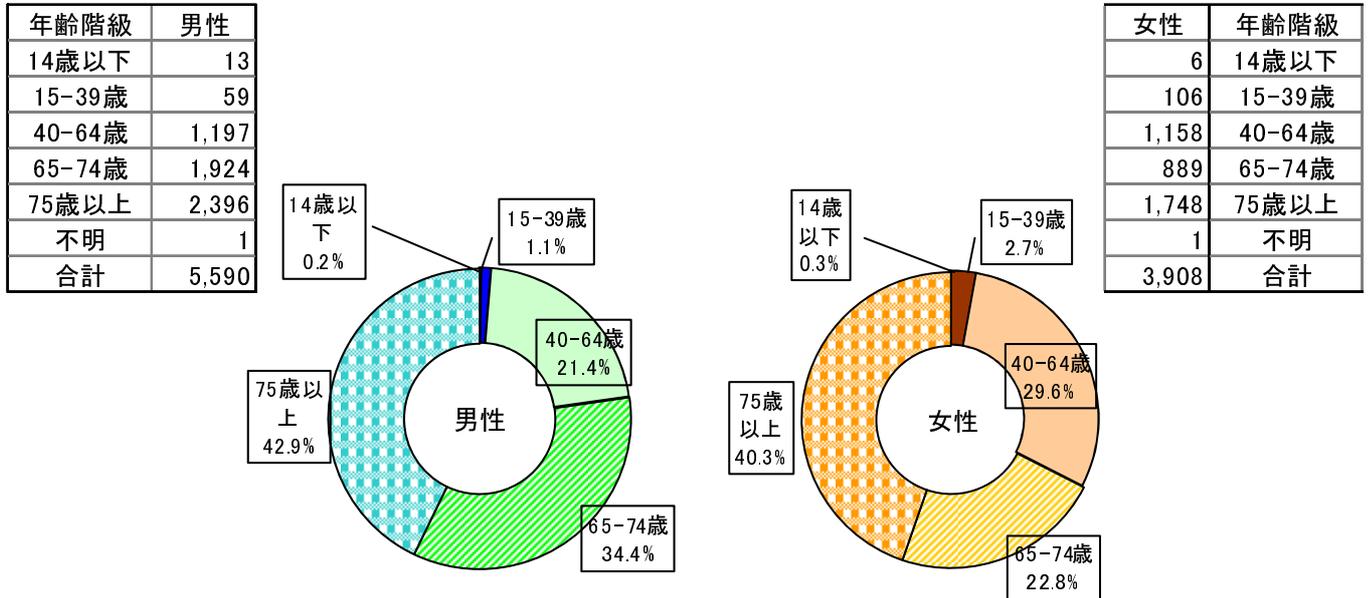


表2 年齢階級別・部位別罹患数・罹患割合

区分		2011年					
		罹患数	部位別罹患数・罹患割合(上位3部位)				
			1位		2位		3位
部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)		
男性	15-39歳	59件	その他の部位 13件(22.0%)	悪性リンパ腫 8件(13.6%)	胃 6件(10.2%)		
	40-64歳	1,197件	胃 251件(21.0%)	肺 166件(13.9%)	前立腺 140件(11.7%)		
	65-74歳	1,924件	前立腺 359件(18.7%)	胃 348件(18.1%)	肺 287件(14.9%)		
	75歳以上	2,396件	肺 478件(19.9%)	胃 448件(18.7%)	前立腺 359件(15.0%)		
女性	15-39歳	106件	乳房 26件(24.5%)	子宮 22件(20.8%)	甲状腺 15件(14.2%)		
	40-64歳	1,158件	乳房 410件(35.4%)	子宮 138件(11.9%)	結腸 65件(5.6%)		
	65-74歳	889件	乳房 139件(15.6%)	肺 122件(13.7%)	胃 109件(12.3%)		
	75歳以上	1,748件	胃 269件(15.4%)	肺 235件(13.4%)	結腸 213件(12.2%)		

注) 上皮内がんを除く

3 受療状況（発見経緯）（表3）

- ・「がん検診」もしくは「健康診断や人間ドック」が発見の契機となった症例の割合は、胃 11.5%、大腸 16.3%、肺 8.9%、乳房 23.3%、子宮頸部 36.3%であった。
- ・「その他不明」には、何らかの自覚症状等により医療機関を受診した際の発見が含まれていることから、その割合が多いと推察される。
- ・2011年の「がん検診+健診・人間ドック」での「胃」、「肺」のがんの発見率は、2009年、2010年に比べ、低くなっている。

表3 部位別発見経緯（%）：

区分	がん検診+健診・人間ドック		他疾患の経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)	
	がん検診	健診・人間ドック				
胃	11.5%	4.9%	6.6%	32.4%	0.0%	56.1%
大腸(結腸・直腸) *上皮内がんを含む	16.3%	11.5%	4.8%	28.0%	0.0%	55.6%
肝および肝内胆管	3.3%	0.6%	2.7%	61.1%	0.0%	35.7%
肺 *上皮内がんを含む	8.9%	3.3%	5.6%	42.1%	0.0%	49.0%
乳房(女性のみ) *上皮内がんを含む	23.3%	20.0%	3.3%	11.6%	0.0%	65.1%
子宮頸部 *上皮内がんを含む	36.3%	31.9%	4.4%	16.3%	0.0%	47.4%
前立腺	19.3%	11.1%	8.2%	44.0%	0.0%	36.8%

4 死亡の状況（表4）

- ・総死亡数については、4,061人（男性2,338人、女性1,723人）となっており、2009年、2010年と、年々増加している。
- ・男性の部位別死亡数として、2009年、2010年、2011年ともに多いものから順に、「肺」、「胃」、「肝および肝内胆管」となっている。
- ・女性の部位別死亡数では、2010年に「肺」と「胃」が入れ変わり、「胃」、「肺」、「結腸」の順に多くなっている。

表4 死亡数及び部位別死亡数・死亡割合

死亡年	死亡数		部位別死亡数・死亡割合(上位3部位)						
			1位		2位		3位		
	総死亡数	内訳	部位	死亡数(割合)	部位	死亡数(割合)	部位	死亡数(割合)	
2011年	4,061件	男性	2,338件	肺	614件(26.3%)	胃	381件(16.3%)	肝および肝内胆管	219件(9.4%)
		女性	1,723件	胃	235件(13.6%)	肺	229件(13.3%)	結腸	163件(9.5%)